

授業づくり

〇個の違いへの対応

ユニバーサルデザインの授業

〇イメージマップを利用した国語「書くこと」の指導の工夫

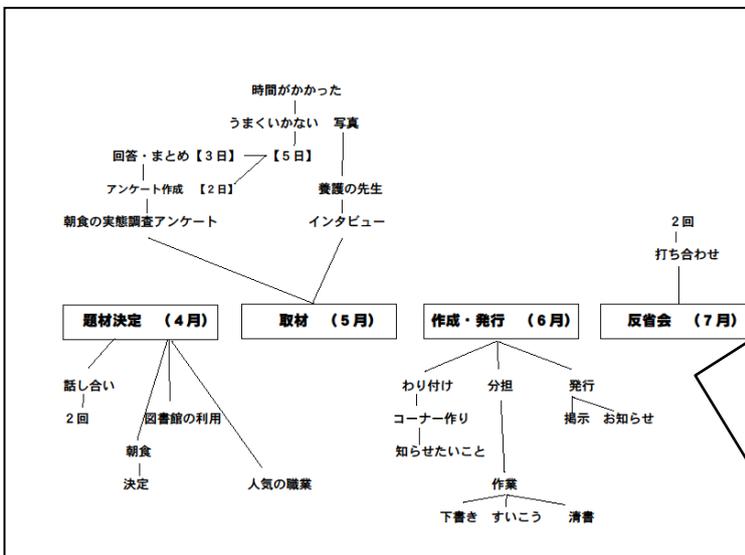
- ・「書くこと」に苦手意識をもつ児童への支援

【なぜこの支援が有効になるのか】

文章を書くことに苦手意識をもつ児童は大変多いです。こういった児童は、どうやって書く事柄を集めて選び、書いていけばよいのか分かりません。イメージマップは、思い浮かんだ言葉を図式的に集めることができ、苦手意識をもつ児童にとっても楽しんで学習を進めることができます。また、関係する事柄からどんどん違う言葉へとつなげていけるので、文章を書いていく材料をたくさん集めることができ、文章構成にもつなげていくことができます。

〈支援・指導の実践例〉 5年生 国語「次への一歩—活動報告書」

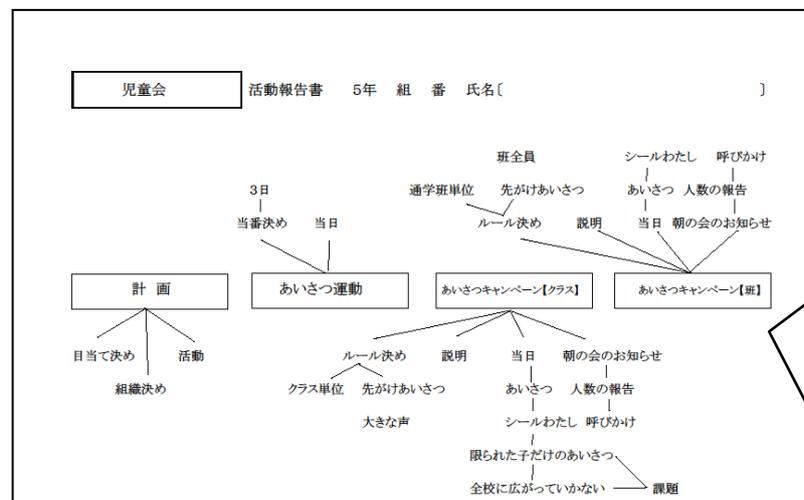
1 書く事柄を収集し、整理するためのイメージマップ



・いきなり、文章を書いていくのではなく、書く事柄をイメージマップに集めることで、構成や記述の抵抗が少なくなります。

・教科書にある例文から、イメージマップを作成し、例文と読み比べながら提示することで、自分が書く事柄をどう集めたらよいかが分かります。

2 ヒントカードでの支援



・活動報告書に実際に書いていく内容に近いものを例示できるように用意しておきます。今回は、委員会の活動を報告する文章を書いていくので、「児童会」を例に作成しました。

・児童の実態に応じて渡し、ヒントカードとしました。